

科目名:商業簿記		講義	担当教員名: 久富 肇	実務経験 有
1年次 3期		60時間	必修	
授業の到達目標及びテーマ 1. 取引の処理の方法や形式が一つだけでなく、2つ以上の基準で処理できる(直接法と間接法他)。 2. 2.期に履修した小企業を対象とした勘定式の財務諸表(貸借対照表と損益計算書)を報告式で作成できる。 3. 新論点である税効果会計、連結会計、製造業会計のしくみが理解できる。 4. 日本商工会議所主催簿記検定2級合格の実力を養う。				
授業の概要 ・2期の復習を交えながら日商簿記の3年間にわたる新出題区分の大改訂の必要性和意義を踏まえながら各单元ごとに小テストで理解力の定着を図る。新出の製造業会計は工業簿記の基礎知識履修を前提として、授業を進める。				
授業計画				
1	株の発行と剰余金の配当、処分	16	子会社株式・関連会社株式・その他有価証券・公社債の売却と購入	
2	利益準備金の積立額、純資産のまとめ	17	引当金	
3	合併と無形固定資産	18	外貨換算会計、為替予約	
4	法人税と消費税	19	税効果会計	
5	商品売買	20	伝票と仕訳日計表	
6	手形と電子記録債権、電子記録債務	21	精算表と財務諸表	
7	銀行勘定調整表	22	本支店会計(内部取引の相殺)	
8	固定資産の減価償却(定率法・生産高比例法)	23	本支店会計合併財務諸表の作成	
9	固定資産の売却・買い替え・除却・廃棄	24	連結会計 支配獲得日の連結	
10	固定資産の修繕、滅失、圧縮記帳	25	連結会計 支配獲得後1・2年目の連結	
11	リース取引(ファイナンスリース取引)	26	未実現利益の消去(ダウンストリーム)	
12	リース取引(オペレーティング・リース取引)	27	未実現利益の消去(アップストリーム)	
13	研究開発費とソフトウェア	28	製造業会計 原価差異の会計年度末の処理	
14	売買目的有価証券	29	製造業における財務諸表	
15	満期保有目的債権	30	まとめ、試験	
テキスト スッキリわかる日商簿記2級商業簿記 TAC出版				
使用教具・参考書等 ①計算器具として電卓②検定試験対策として網羅式日商簿記2級過去問題集				
評価の方法と基準 定期試験時にペーパーテスト(100点中60点以上合格) 受講態度と小テスト、課題提出を加味する				